

【令和7年度 政策・調整会議】

件 名：第3次かわさき観光振興プラン（案）の策定について

日 時：令和7年11月10日（月）10：13～10：25

場 所：本庁舎7階特別会議室

●付議理由

近年では、国内外の観光市場は著しい変化と拡大を遂げており、拡大する訪日外国人観光客（インバウンド）の需要と多様化する旅行ニーズへの対応が喫緊の課題となっている。

このような社会環境の変化を踏まえ、将来的な人口減少の進行やグローバル化のさらなる進展を見据え、第3次かわさき観光振興プランとして策定し、地域経済の活性化や市民のシビックプライドの醸成等に資する観光施策を推進していくため。

●付議概要

第3次かわさき観光振興プランを案として取りまとめる。

<案>

1 策定経緯・趣旨・位置付け

- ・地域経済の活性化や市民のシビックプライドの醸成等に資する観光施策を推進するため、かわさき観光振興プランを策定する。
- ・12年間の計画期間を4年ごとのフェーズに区分し、各フェーズにおいてターゲットの設定や重点施策の選定、推進体制の見直し等を行う。

2 観光で目指すビジョン

「川崎のありのままの魅力に光をあて、住む人・訪れる人が共に楽しい”川崎らしい観光”を目指して」

3 川崎観光のメインテーマ

「ヒルカワ・ヨルカワー川崎の昼と夜。ひとつのまちで、ふたつの旅。ー」

4 これからの観光振興に向けた取組

（1）重点ターゲット

- ①交流を生み出し、観光カルチャーを創造するひと
- ②ありのままの川崎をポジティブに捉える国内外のひと
- ③川崎に来るビジネスパーソン
- ④20～30代の国内外の若者たち

（2）主な取組

- ①川崎らしさの発掘と発信
- ②周辺地域・羽田空港からの誘客促進
- ③産業観光のさらなる推進
- ④点から面へ、広がる川崎旅
- ⑤川崎観光の設計者・プレーヤーのコネクション拡大
- ⑥若年層・未来層に選ばれるブランディング

●主な意見等

観光振興については、本市以外の企業・団体等も含めた役割分担や体制等を整理し、推進していくことが重要である。

●結論

案のとおり了承。